



町民の声

「私達の上台峠」

上台地区区長
天口 滋雄 さん
(69歳)

バード来町から140年

イギリスの女性旅行家、イザベラ・バードが金山を訪れてから140年になります。明治11年に、険しい山道を越え上台峠から金山町を眺め、ピラミッド形の山を見て「ロマンティックな雰囲気」な場所であると書いています。

上台バイパス道路が出来てからは、ひっそりとした木々の繁森の中の道として、古い歴史を感じさせる旧道になっています。

最近、この場所を求めてリュックサックを背負い、山道を下ってくる人が多くなりました。

旧道を手入れして約50年

そんな人々を見ると、一層、管理や手入れが大事だと思えます。上台地区では恒例行事として、旧道の草刈りや排水路の掃除を約50年近くやっ

ています。

また、道路沿いに桜を植えたりして守ってきました。地区の皆さんは近道と言っていますが、熊野神社わきにある山道です。

上台峠をぜひ訪れて

バイパス道路が出来た前は多くの人々が行ったり来たりしていましたが、利用がなくなってからは、草や木が生い茂り、荒れていました。それを地区の有志が集まり整備し、昔の道として歩けるようになりました。旧道ともつながり一周する事が出来ます。歩いて20分くらいで回れます。

昔から新庄金山間を結んできた上台峠を、ぜひ訪れてみて下さい。また、今回の大雨により道路の傷みが激しいので、早い町の対応を願っています。



地区総出で汗を流す

議会豆知識 No.14

●「議員定数」

以前は「法定定数制度」で、人口規模に応じて法律で定数の上限が定められていた。金山町は18人とされたが、平成11年4月の選挙は減少条例を定め2名減の16人とした。その後、地方自治法の一部改正により「条例定数制度」となり、平成12年の条例制定では16人と定め、平成15年4月の選挙を迎えた。

その後、平成17年9月議会で6人減という大改革を行い、平成19年4月の選挙から現行の10名となり現在に至る。町議会基本条例に基づく検討を経て、来年4月には町議会議員選挙が行われる。

総務省の有識者懇談会が報告書に盛り込んだ、小規模な市町村の場合、現行制度に加えて、議員数を減らし専門で生活できる報酬を支給する「集中専門型」と、報酬を抑制して議員数を増やす「多数参画型」という新たな地方議会の制度案が示されているが、地域の声や実情に配慮されていないとの地方議会の声が大きく、今後の議論に注目が集まる。

12月議会定例会は12月5日(水)～7日(金)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

ギンニング No.8

来年4月、統一地方選挙が予定されている。全国的には議員のなり手不足が懸念され、問題点が二つ上げられていた。

「議員報酬」と「議員の働き方」だ。総務省の研究会は報告書をまとめ、小規模市町村を対象に、新たな議会のあり方を提案した。「集中専門型」と「多数参画型」の2つのパターンだ。個人的には『多数参画型』が良いと思うが。

その前に、本当に議員になれる人が不足しているのかということ自体に疑問を持つ。人口が少ないほど、議員のなり手確保が難しいと言われる中、現在、金山町には女性議員はいない。人口減少の時代に、半数を占める女性の参加が少ないとなれば、なり手の確保が厳しくなるのではないだろうか。

(文責 高橋 浩樹)

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

■ 委員長 沼澤 道也
■ 副委員長 高橋 芳夫
■ 委員 高橋 浩樹
■ 委員 早坂 憲明

* * * * *

